

ブランド資産紹介



K-MIX
(かがわ遠隔医療ネットワーク)



か がわ遠隔医療ネットワーク (K-MIX) が小学校の教科書に掲載されることになりました。

政府は、2001 年に高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部 (IT 戦略本部) を内閣に設置し、「e-Japan 戦略」、2006 年に「IT 新改革戦略」を次々と発表しています。本年 5 月には、新政権による新成長戦略として「新たな情報通信技術戦略」が発表され、あらゆる分野で IT 化の政策が進められています。



保健・医療の分野においては、遠隔医療技術の活用、シームレスな地域医療連携の実現、そして日本版 EHR、どこでも MY 病院構想が掲げられ、個人の生涯を通じた継続的な医療の実現が推進されています。

香川県においては、政府の IT 戦略が発表される前から、医療への IT 導入に取り組んでおり、98 年度に「周産期電子カルテネットワーク」、01 年度に「四国 4 県電子カルテネットワーク連携プロジェクト」、そして 03 年度にこれらの成果をさらに発展させ、香川県と香川県医師会、香川大学医学部が一体となって運用する「かがわ遠隔医療ネットワーク (K-MIX)」

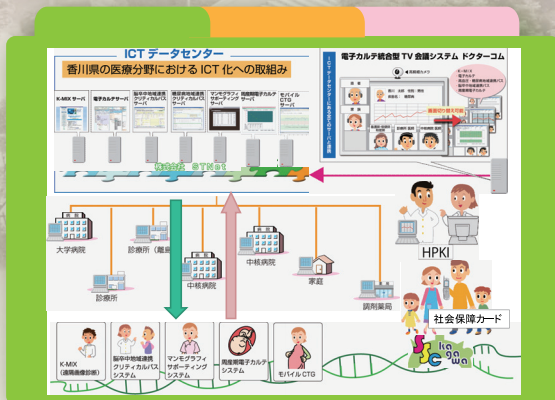
がスタートしました。発足時は 30 医療機関程度でしたがその後順調に増加し、10 年末には 100 施設を超え、現在全国規模で展開しています。

K-MIX の機能は年々強化され、10 年度に大学病院と地域の調剤薬局を双方向に結ぶ電子処方箋のネットワークが、実際にスタートしました。本年度中には糖尿病地域連携クリティカルパスも稼働する予定です。

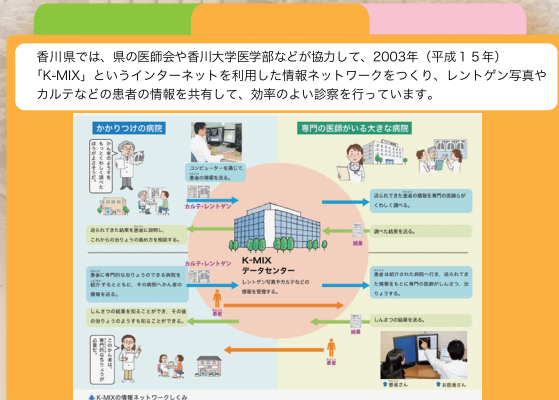
医療機関からのデータを収集、蓄積し、個人個人の健康情報を時系列でグラフ表示し、それを個人の健康管理や、社員の健康管理に役立てようとする取り組みが EHR/PHR、ならびにお薬手帳で、11 年度以降に実用化したいと考えています。

香川県での医療 IT の取り組みは、教育分野でも注目され、非常に光栄なことに、「情報化した社会の様子と国民生活とのかかわり」を学ぶ実例として、11 年度から「小学校 5 年下」(日本文教出版) の教科書に、香川発の医療技術、かがわ遠隔医療ネットワーク (K-MIX) として掲載されることになりました。

これを機会に、これまで香川で開発してきたシステムが、子供たちを含め、皆様に広く知ってもらえればと考えています。



K-MIX 全体図



患者さんを守る通信技術